

「我が懐かしき歌」潮来笠 補遺 37 4/28 (日)

『潮来笠』(いたこがさ)は、1960年7月5日に発売された橋幸夫のデビュー曲で、同年12月30日の第2回日本レコード大賞新人賞に選ばれ、同じく同年の第11回NHK紅白歌合戦に初出場を果たした。翌1961年には本楽曲をモチーフにした同名の映画「潮来笠」が小林勝彦の主演によって公開され、橋自身もゲスト出演した。(参考: Wikipedia)

『潮来笠』...

作詞: 佐伯孝夫 作曲: 吉田正

潮来の伊太郎 ちょっと見なれば
薄情そうな 渡り鳥
それでいいのさ あの移り気な
風が吹くまま 西東
なのにヨー なぜに眼に浮く 潮来笠

田笠の紅緒が ちらつくようじゃ
振り分け荷物 重かろに
わけはきくなど 笑ってみせる
粹な単衣の 腕まくり
なのにヨー 後髪引く 潮来笠

「我が懐かしき歌」補遺 36 4/20 (土)

「星影のワルツ」は、昭和41年(1966)に太平音響(現・徳間ジャパンコミュニケーションズ)から発売された千昌夫のシングルに収録された歌。(参考: Wikipedia)

『星影のワルツ』...

作詩 白鳥園枝 作曲 遠藤 実

1 別れることは つらいけど
仕方がないんだ 君のため
別れに星影の ワルツをうたおう
冷たい心じゃ ないんだよ

冷たい心じゃ ないんだよ
今でも好きだ 死ぬ程に

2 一緒になれる 倅せを
二人で夢見た ほほえんだ
別れに星影の ワルツをうたおう
あんなに愛した 仲なのに
あんなに愛した 仲なのに
涙がにじむ 夜の窓

3 さよならなんて どうしても
いえないだろうな 泣くだろうな
別れに星影の ワルツをうたおう
遠くで祈ろう 倅せを
遠くで祈ろう 倅せを
今夜も星が 降るようだ

「我が懐かしき歌」補遺 35 4/5 (金)

「あなた」といえば、「二人は若い」。昭和10年(1935)、映画「のぞかれた花嫁」の主題歌として発表され、大ヒットしました。歌はディック・ミネと星玲子によって歌われました。
(参考: Wikipedia)

『二人は若い』...

作詞：サトウ・ハチロー 作曲：古賀政男

(一)

あなたと呼ばば あなたと答える
山のこだまの 嬉しさよ
あなた なんだい
空は青空 二人は若い

(二)

ちよいとと呼ばば ちよいと答える
山のこだまの いとしさよ

ちよいと なによ

風はそよ風 二人は若い

(三)

あのネと呼べば あのネと答える

山のこだまの やさしさよ

あのネ なにさ

あとは言えない 二人は若い

「あなた」。「私の横には あなた あなた あなたが居て欲しい」のところは今でもよく思い出します。小坂明子は1974年、高校生でデビュー。当時は珍しかった自ら歌うシンガー・ソングライターで、父は関西で知られた指揮者。作曲家のキャリアもあったそうです。幼少からクラシック音楽に親しみ、大阪音大付属高校に進み、ピアニストを目指しましたが、フォークバンド「ガロ」のファンで、自分の作品を歌って欲しくなり、作曲していたということで、「あなた」はそのひとつだったそうです。同1974年の第25回紅白歌合戦出場、父の小坂務の指揮による伴奏、ピアノ弾き語りで「あなた」を歌いました。親子共演は紅白史上初だったということです。(参考: Wikipedia)

『あなた』

作詞：小坂 明子 作曲：小坂 明子

もしも 私が家を建てたなら
小さな家を建てたでしょう
大きな窓と小さなドアと
部屋には古い暖炉があるのよ
真赤なバラと白いパンジー
子犬のよこには
あなた あなた
あなたが居て欲しい
それが私の夢だったのよ
いとしいあなたは 今どこに

ブルーのじゅうたん敷きつめて
楽しく笑って暮すのよ
家の外では 坊やが遊び
坊やの横には
あなた あなた
あなたが居て欲しい
それが二人の望みだったのよ
いとしいあなたは 今どこに

※そして 私はレースを編むのよ
わたしの横には

わたしの横には
あなた あなた
あなたが居て欲しい※

(※くり返し)

『我が懐かしき歌』補遺 33 3/17 (日)

「月がとっても青いから」。夜の帰り道に月が煌々と照っていたりするとよく思い出します。1955年に発表され、歌手の菅原都々子が大ヒットさせた日本の歌謡曲。なんでも作曲の陸奥が娘の都々子のイメージチェンジを賭けて売り出し、現在の市場規模の30分の1の時代、100万枚を超える大ヒットとなり、この曲で菅原は歌手としての地位を不動のものにした、ということです。同年12月20日、日活製作の同名の映画が公開されました。後にレコード化した歌手に、石原裕次郎、森昌子、天童よしみ、遊佐未森、氷川きよし等があります。(参考: Wikipedia)

『「月がとっても青いから」』

作詞:清水みのる 作曲: 陸奥 明

月がとっても青いから
遠まわりして帰ろう
あの鈴懸(すずかけ)の並木路(なみきじ)は
思い出の小径(こみち)よ
腕をやさしく組み合って
二人っきりで サ帰ろう

月の雫(しずく)に濡れながら
遠まわりして帰ろう
ふと行きずりに知り合った
思い出のこの径(みち)
夢をいとしく抱きしめて
二人っきりで サ帰ろう

月もあんなにうるむから
遠まわりして帰ろう

もう今日かぎり逢えぬとも
思い出は捨てずに
君と誓った並木みち
二人っきりで サ帰ろう

「我が懐かしき歌」補遺 32 3/11(月)

『金比羅船々 こんぴらふねふね』は、香川県・金刀比羅宮(ことひらぐう)を題材とした日本の古い民謡。和風の温泉宿やお茶屋、宴会、料亭、などで舞妓・芸妓と行うお座敷遊び・お茶屋遊びの曲としても知られている。

金毘羅船々(こんぴらふねふね)...

金毘羅船々(こんぴらふねふね)
追風(おいて)に帆かけて
シュラシュシュシュ
まわれば 四国は
讃州(さんしゅう)
那珂の郡(なかのごおり)
象頭山(ぞうずさん)
金毘羅大権現(こんぴら だいごんげん)
一度まわれば

「我が懐かしき歌」補遺 31 3/2(土)

「君恋し」。オリジナルは、昭和4年(1929)に浅草オペラの人気歌手・二村定一(ふたむら・ていいち)が歌った曲だそうです。戦後の昭和36年(1961)、この曲がフランク永井の歌でリバイバル・ヒットしました。原曲は映画の主題歌でしたが、このリバイバル版も、翌年公開された日活の歌謡メロドラマ『君恋し』(森永健次郎監督)の主題歌として使われました。原作は作詞者の時雨音羽でした。(参考: 二木紘三 歌ものがたり)

『君恋し』...

『君恋し』

作詞:時雨音羽 作曲:佐々紅華

1 宵闇せまれば 悩みは涯なし
みだるる心に うつるは誰(た)が影
君恋し 唇あせねど
涙はあふれて 今宵も更け行く

2 唄声すぎゆき 足音ひびけど
いずこにたずねん ころの面影
君恋し おもいはみだれて
苦しき幾夜を 誰がため忍ばん
君恋し 唇あせねど
涙はあふれて 今宵も更け行く
今宵も更け行く 今宵も更け行く